





平成 27      18 日



10

31

41

49

53

59

70

78

82

90

96



24

26

10

24

28

	H23	24	25	26	27	28	29	
24 28	● 策定							
				→	○報告			

9

10

10

Do Check Action

■ 計画の基本的な考え方

10の事項の組み合わせ

- 1 活力にあふれる長力に富む雇用の創出
- 2 災害や犯罪事故が少なく安心して暮らせること
- 3 高齢者や障害者が暮らしやすくと生活できること
- 4 女性がいきいきと活躍できること
- 5 安心して子育てできること
- 6 子どもが若くして学び、将来に向かってはばたけること
- 7 誰もが元気に暮らせること
- 8 心のぬくもりを実感できる社会であること
- 9 環境と調和し快適に暮らせること
- 10 豊かな文化を楽しめ、幅広い分野の国際交流を実感できること

「福岡県」

「福岡県」



1		150	
		Ruby	
2			
3			

4		
5		
6		

1		
2		
3		

1	70	
2		

3		
4		

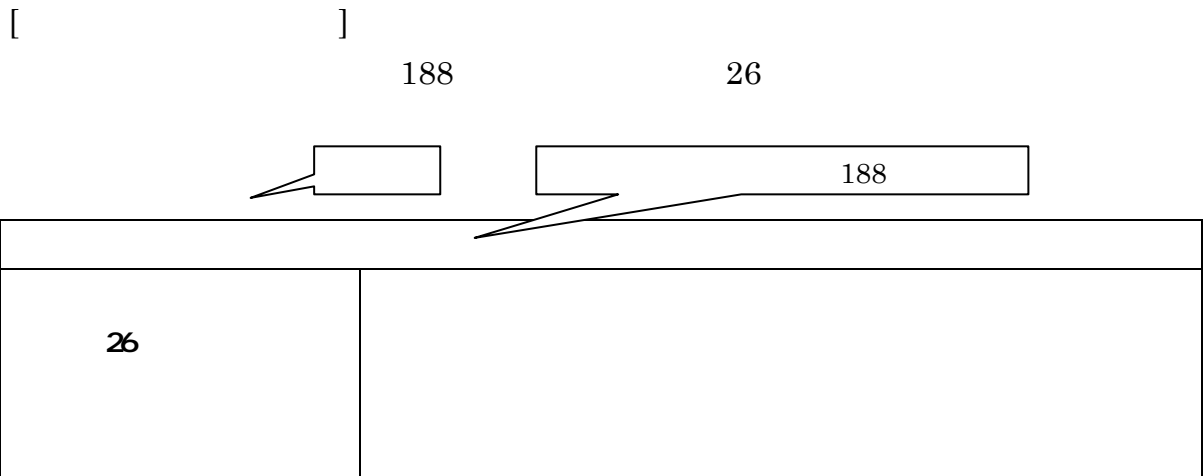
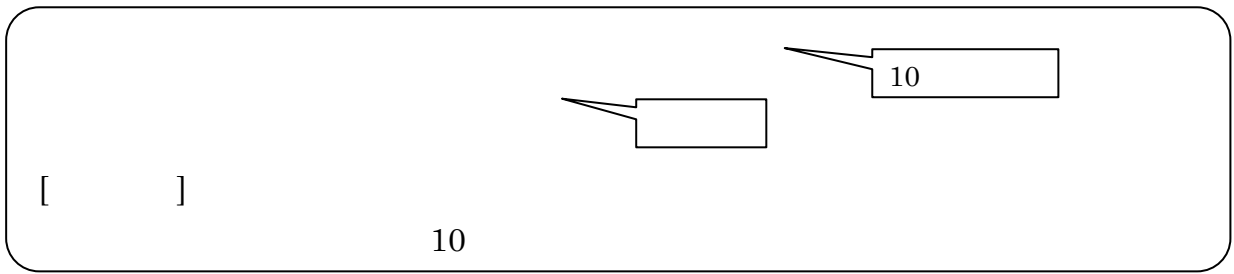
1		
2		

1		
2		
3		

1		
2		
3		

1		
2		
3		

10





	781
	238

	26
	1,047
	28
	Ruby
	211




--	--


Ruby	
Ruby	<p style="text-align: center;">             Ruby      Ruby      Ruby      Ruby              Ruby      Ruby      Ruby      Ruby              Ruby      Ruby      Ruby      Ruby              Ruby      Ruby      Ruby      Ruby           </p>
	46
	Ruby

	21
	110      32
	24
26	191
107	162



	26
	100

[ ]

[ ]

	354
( )	2,326      3,294
	107      500
	13      67

	293

	187

	H27 in H26 11
	189 45
	252

	40
	53
	338
	11


	12 H26 11
--	--------------

	62	17	50
			10

			10 413
			15
		10	
	11		

( )	1,500	7,546 800	1,000
		260	

		450	
		26	

[ ]

[ ]

--	--

	5
--	---

	123t                      64t
	ha)
	64

	<p style="text-align: center;">266</p> <p style="text-align: center;">10</p> <p>11</p> <p style="text-align: center;">264</p> <p>to</p> <p style="text-align: right;">to</p>
	<p style="text-align: center;">11 10</p> <p style="text-align: right;">160</p> <p>24</p> <p style="text-align: center;">( 28 15 )</p> <p style="text-align: right;">11</p> <p style="text-align: right;">10-12 822</p>

---


	74



	<p style="text-align: right;">in</p> <p style="text-align: right;">16 3                      2 2</p>

	<p style="text-align: center;">34, 041ha</p> <p style="text-align: center;">33<sup>3</sup></p> <p style="text-align: center;">8 7                      143km</p>
	<p style="text-align: center;">12</p>



		217	200
		21	528
	49,071	1,742	13

			20
		265	14
		78	91

		1,457	68
--	--	-------	----

		180	38
		72	87
			33



	12
--	----

	2,473ha
	719ha

	92	18
--	----	----

	10	87	17	76
		1.7ha		6.1ha

--	--

	11
	24
	47
	1, 237

	86ha

[ ]

[ ]

	29	
		7,063
30	30	
	30	1,340
		563
	20	311

	40	65	
			1,770
	40	65	15
			1,012

	619
	509

---

	26

	6 605

---

	450
	26

		26	
			222
	123		

---

	5,000		
			5000
		H26	5,050

	11,527		





	15
--	----



	20
	( ) ( )
	( )

	84
	31



	32

	40ha
	40,000
	53,000



	<p style="text-align: center;">10</p> <p style="text-align: center;">11      12</p> <p style="text-align: center;">245</p> <p style="text-align: right;">181</p> <p style="text-align: right;">153</p>
	<p style="text-align: center;">25</p> <p style="text-align: center;">18      414</p> <p style="text-align: right;">93,585</p>
	225
	<p style="text-align: center;">25,015</p> <p style="text-align: center;">1,136</p> <p style="text-align: center;">690</p>

	15 20
	27
	190 107

	165

	52
	205



	56
--	----

	55 15
	642 28 567
	33
	60

[ ]

[ ]

	600 350 600 1,000
	28
	20 26
	255

	600
	204
	31
	%

	459

	26 12
	60

	32
	207
	37
	2,768
	49

	893
	39

	29
7	43
	109
	376

---

	23,078
	4,284
153	18
	4,160
	280

	1.0
	GS
	26 12

[ ]

[ ]

	18
	2 507
	53
936	10
	168
	26


	3 730
	18

	17	
		48
	632	
		12
		18
		1,055



[ ]

[ ]

	17,715
	58
	26

	58
	60

	821
	2,067
	24
	25      60
220      332	236      346



	5,842	1,082	99,266
		10	
	142	34	
		24	
			42
			248
			20

			11
			541
			31

	) 60
--	---------

---

	393
--	-----

[ ]

[ ]

	490
	611
	167

	307
	279
	212
	653
	847

---

	699
	257

[ ]

[ ]

	565
	110
	15                      118

	111
	122

	34
	12
	681
	6 000                      H26    12



	22	200
	96	89
	26	328
	45,453	150
		26 10
	40	

	222
	43

	H26 12 13,078
	55,104
	1.0









[ ]

[ ]

	29
	7,063
30	30
	30 1,340
	563
	20 311

	H26 309



	2,016
	( 1,133 )

	3,861
	384
	21
	32
	41

	20
	126 20,192
	288

	219
--	-----

	5,000
	5000
	H26 5,050
	71



	18	41,000 5,000 3,000
		271



(6) 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

①個性や能力に富み、学力・体力を備えた子どもを育てる

[目指す姿]

- 子どもたちが確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばすことができる学校を目指します。
- 子どもたちが体力を高め、積極的に運動に親しむことを目指します。
- 子どもたちが自らの将来を真剣に考え、自らの夢の実現に向けて、努力し成長することを目指します。

[主な取組みの実施状況]

(子どもの学力の向上や個性・能力の伸長)

確かな学力向上のための取組の推進	
ふくおか学力アップ推進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・全国学力・学習状況調査及び福岡県学力実態調査を実施し、調査結果報告書を市町村教育委員会、学校に配布し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てました。</li><li>・県内 18 市町村を学力向上推進強化市町村に指定しました。</li><li>・少人数・習熟度別指導等のため、強化市町村に非常勤講師を 104 人 (27,477 時間) 派遣しました。</li><li>・各教育事務所に学力向上支援チームを設置し、市町村教育委員会、学校に派遣しました。(749 回)</li><li>・学力向上に向けて土曜授業を推進しました。 (実施校の割合(政令市を除く。) 小学校 73.6%、中学校 76.0%。 実施に当たって、外部人材を活用した土曜授業に対する県の経費補助を受けた市町村数 14 市町村)</li></ul>
小中学校学力向上推進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・各教育事務所に学力向上推進委員会を設置し、教材集の活用状況、診断テスト実施状況の把握及び診断テスト結果に基づく課題の分析等を行いました。</li><li>・基礎基本を含む活用力育成教材集及び活用力診断テストを作成し、県域内の小中学校で活用しました。</li><li>・授業実践力強化講座を実施し、小学校第 5・6 学年全担任と中学校国語科、数学科の教員が参加しました。(参加者 1,020人)</li></ul>
個性や能力を伸ばす教育の充実	
少人数指導や習熟度別指導の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒の学力の実態に応じたきめ細かな指導を行うため、少人数指導の実施を推進しました。(実施校の割合(政令市を除く。) 小学校 99.1%、中学校99.0%、県立高等学校 53.8%)</li><li>・児童生徒のつまづきや定着度に応じたきめ細かな指導を行うため、習熟度別指導の実施を推進しました。 (実施校の割合(政令市を除く。) 小学校 96.2%、中学校 94.7%、県立高等学校 89.2%)</li></ul>
次世代の科学技術を担う人材育成事業の実施	次世代の科学技術を担う人材育成事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・高校生科学技術コンテスト (参加者数 1,082人)</li><li>・科学的思考力向上セミナー (参加者数 32人)</li><li>・高校生科学技術フェア (参加者数 159人)</li><li>・科学の甲子園ジュニア (参加数 121チーム)</li></ul>

高校生知の創造力育成セミナー事業の実施	「ふくおか高校生知の創造塾」において、プレセミナー（1日、合宿事前指導）、合宿セミナー（2泊3日、討論、ポスターセッションなど）を実施しました。 (参加者数 生徒 33校・244人、高校教員 16人)
I C Tを活用した授業の推進、I C T活用能力の育成及び情報モラルの育成	・コンピュータを活用した授業を実施しました。 ((政令市を除く。) 小学校 100%、中学校 100%) ・コンピュータを適切に活用するため、情報モラル指導を推進しました。((政令市を除く。) 小学校 100%、中学校 100%)
I C T活用教育研究事業の実施	電子黒板及びタブレット端末を活用した授業の研究を行いました。(小学校 1校、中等教育学校 1校、特別支援学校 1校)

キャリア教育の充実	
地域、企業等と連携した職場体験活動の推進	・接客や販売、介護などの職場体験活動を推進しました。 (実施状況 (政令市を除く。) 小学校 18.8%、中学校 97.1%) ・知的障害者県職場体験実習事業の職場体験に県立特別支援学校高等部生徒が参加しました。(8人)
インターンシップの推進	インターンシップを推進することにより、勤労観・職業観の育成を図りました。(実施校 県立高等学校 (95校/95校)、高等部を設置する県立特別支援学校 (14校/14校))
県立工業高校産業人材育成事業の実施	・生徒を企業に派遣する教育・訓練を実施しました。 (参加生徒数 2,126人) ・企業の高度熟練者による実践的な実習指導を実施しました。 (指導時間 462時間) ・教員等を対象として、企業における技術研修を実施しました。 (参加者数 34人) ・学級単位の企業訪問を実施しました。(参加生徒数 2,191人)

特別支援教育の充実	
発達障害児等教育継続支援事業の実施	・専門家による巡回相談を実施しました。(保育所 12件、幼稚園 53件、小学校 364件、中学校 96件、高等学校等 31件) ・5歳児のいる家庭への継続支援(子どもたちの状態や支援内容・方法等の情報を小学校へ伝え、安心した学校生活のスタートへつなげるもの)に関する理解・啓発リーフレットを配布しました。 ・ふくおか就学サポートノート(引き継ぎシート)を配布しました。(引き継ぎシートによる情報提供を受けた数 2,206件)
障害のある子どもの居住地校交流事業の実施	モデル地域における居住地校交流を実施しました。 (対象児童生徒 36人(小23人、中13人)、実施回数 86回)

(子どもの体力の向上)

体力向上のための取組の推進	
「1校1取組」運動の実施	児童生徒の体力向上を図るため、各学校の実態に応じた特色ある体力向上に係る「1校1取組」運動を実施しました。 (政令市を除く全小・中学校 677校、全県立高等学校 95校)

体育・スポーツ活動を豊かにする体制づくり	
学校体育における地域人材活用に関する調査研究	中学校における武道及びダンスの体育授業の指導体制づくりを図るため、地域人材を活用した体育授業の在り方について調査・研究しました。(地域人材派遣校数 23校)

(6) 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

②豊かな人間性や志を持ち、たくましく生きる子ども・若者を育てる

[目指す姿]

- 教育力向上福岡県民運動や青少年アンビシャス運動などが浸透し、次代を担う子どもたちを家庭や地域、学校が温かく見守り育てる社会を目指します。
- 子ども・若者が海外に対する興味や関心を持ち、多くの若者が海外で活躍している社会を目指します。
- 子どもたちが自然や社会と実際に関わり、自律心と思いやりの心を身に付けている社会を目指します。
- いじめや不登校、ひきこもりに悩む子どもたちが自信を取り戻せるよう、気持ちに寄り添い、しっかり支える社会を目指します。
- 少年の非行を防ぎ、立ち直りを支援する環境を整え、非行少年を生まない社会を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(学校・家庭・地域の教育力の向上)

教育力向上福岡県民運動の推進	
鍛えよう！ほめよう！学校の教育力向上プロジェクト	学校の教育力を向上させるため、「地域力を活かした学校支援と学校力を活かした地域づくり」など、地区毎の重点テーマに沿った取組みを各学校において実践しました。また、取組み前後の子どもの変化を測定する「福岡がめざす子ども」尺度調査ツールを活用し、各学校で教育活動の工夫改善を図りました。 (取組小中学校数 59校)
教育力向上福岡県民運動推進派遣講座	学校、PTA、企業等が「教育力向上」をテーマに開催する研修会等に、講師や助言者として県民運動推進委員等を派遣しました。 (派遣実績件数 69件)
ふくおか家庭教育支援事業	・基本的な生活習慣の定着について、県内の5、6、7歳児の子どもがいる家庭に生活習慣カードを配布し、親子での生活習慣づくりに取り組むとともに、実践データを分析・検証し、成果の普及・啓発を行いました。 ・県内9市町に学習支援コーディネーターを配置し、学習習慣の定着を図りました。

青少年アンビシャス運動の推進	
アンビシャス広場づくり事業	地域ぐるみでたくましい子どもを育てるため、地域の公民館や集会所、学校の空き教室などを活用した子どもの居場所として「アンビシャス広場」を設置しました。(アンビシャス広場 252か所)
青少年アンビシャスの翼事業	国際的な感覚を持った、たくましい青少年の育成を図るため、中・高校生をアメリカのサマーキャンプに派遣しました。 (期間 8月1日～19日、派遣先 アメリカ(20人)、対象 中学2年生～高校生)

日本の次世代リーダー養成塾の開催	日本の次世代を担う高校生を対象に、世界に伍して活躍できる人材の育成を図るため、合宿型のサマースクールを実施しました。 日程：平成26年7月25日～8月7日 会場：グローバルアリーナ（宗像市） 塾生：全国の高校生170人（うち福岡県塾生33人）
青少年アンビシャス運動啓発事業	青少年アンビシャス運動の周知を図り、参加団体の拡大を目指すため、広報紙やホームページによる啓発やフォーラムを開催しました。（アンビシャス通信の発行 年3回、フォーラムの開催 H26年8月9日 ホテルセントラーザ博多で実施 参加者 154人）
サマーキャンプ事業	子どもたちが自然の中で長期間の共同生活を行うことによって、困難に立ち向かう勇気や忍耐力、自主性、協調性を養い、たくましく生きる力を育むことを目的にサマーキャンプを実施しました。（期間 8月3日～12日、糸島市で実施、内容 天体観測、牛の世話体験、竹細工等、参加者 22人、対象 小学5年生～中学3年生）
アンビシャス体験フェスティバル事業	アンビシャス広場やアンビシャス運動参加団体等が主体となって、子どもたちに木工教室や昔遊び、科学実験などの体験プログラムを提供する地域主導による体験型フェスティバルを開催しました。（H26年10月北九州市、H26年11月小郡市、うきは市、参加者 計4,000人）
アンビシャス広場地域間交流体験事業	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む多彩な体験を促進するため、地域を超えたアンビシャス広場同士が交流することで、子どもたちが普段体験できない活動を実際に挑戦・体験しました。（12広場で実施 内容 川遊び、洞窟体験、地引網等）

（豊かな心を持った子ども・若者の育成）

国際感覚あふれる子ども・若者の育成	
青年の翼事業	成長著しいアジアの躍動感を体感するとともに、国際的視野を身に付けるため、県内の青年をアジアへ派遣しました。（期間 11月9日～16日、派遣先 カンボジア（プノンペン・シェムリアップ）・シンガポール 団員数 23人、対象 18歳～35歳）
世界に打って出る若者育成事業	将来、長期の海外留学や調査研究又は海外勤務等の多様な活動を起こすきっかけを作るため、県内の高校・大学等が主催する海外体験プログラムに対して支援を行いました。（支援プログラム数 15（高校8、大学等7）、参加者 226人）
A L T等を活用した英語コミュニケーション能力の育成	英語教育等の充実のためネイティブスピーカーである外国語指導助手（A L T）を県立高等学校や教育事務所等に配置しました。（配置人数 247人、うち小中学校対象 県任用 17人、市町村任用 159人 高等学校対象 71人）
世界に挑む人材育成事業の実施	・高校生の海外留学を支援するため、高校留学助成金を支給しました。（長期派遣：留学経費の1/2（最大30万円）を45人へ給付、短期派遣：3校のプログラム参加者33人へ1人当たり10万円を給付） ・高校生留学説明会・報告会において、留学経験のある著名人の講演会や留学経験者の報告会、留学に関する説明、個別の相談会等を行いました。（参加者数 説明会 190人、報告会 177人）
英語で世界にチャレンジする小中学生育成事業	・小学生英語体験ひろばを県内3か所（福岡、北筑後、京築）でそれぞれ3日間実施し、小学校4～6年生197人が参加しました。（県内の国公立中学校からの応募総数 377人）

	<p>・ハウステンボス（長崎県）において、2泊3日の中学生英語宿泊体験を実施し、中学校1～3年生100人が参加しました。 （県内の国公立中学校からの応募総数 271人）</p>
--	--

<p>実体験を重視した教育の推進</p>	
<p>通学合宿推進事業</p>	<p>家庭を離れ、公民館等で下校から登校までの集団宿泊生活を行うことにより、子どもたちの日常生活技術や自発性、協調性を育むことを目的とした通学合宿を実施しました。 （実施小学校区数 275校区）</p>
<p>地域活動指導員の設置</p>	<p>市町村が子どもの体験活動などを推進する地域活動指導員を配置する場合、その経費に対して助成し、地域での様々な体験や学習活動の機会の充実を図りました。（配置人数 177人）</p>
<p>子どもの社会力育成推進事業</p>	<p>自ら参画して社会を変えていこうとする力である「社会力」を育成するため、県内8か所で「子どもの社会力育成塾」を実施し、修了生は「子ども地域貢献隊」として地域での社会貢献活動を継続的に実施しました。 （子ども地域貢献隊の活動の参加者数 延べ765人）</p>
<p>ふくおか小中学生体験活動推進事業</p>	<p>・小中学校における困難克服体験を伴う宿泊体験学習の充実を図り、児童生徒のやり抜く心を育成するために、福岡県キャンプ協会の指導者を派遣するとともに、キャンプ後の教員研修を実施しました。（16市町村（17小学校、13中学校）） ・小学校における動物飼育を通じた児童の豊かな心の育成を図るため、福岡県獣医師会と連携して動物飼育の相談体制の整備を行うとともに、教員研修を実施しました。（電話相談17回・訪問指導5回、22小学校で教員研修実施、新任管理職研修での講話実施）</p>
<p>少年健全育成事業</p>	<p>少年柔剣道を通じてたくましい少年の育成を図るため、柔道、剣道それぞれ2泊3日で合宿を実施しました。また、合宿や日頃の練習の成果を発揮する場所として県内14地区で開催された少年柔剣道大会の開催を支援しました。 （柔道合宿参加者数 104人、剣道合宿参加者数 102人）</p>

<p>就学前教育の振興</p>	
<p>家庭教育充実事業</p>	<p>電話相談「親・おや電話」を設置して、子育てに不安を抱える保護者からの相談に対応しました。（相談件数 627件）</p>
<p>地域の実態を踏まえた幼稚園・保育所・小学校の連携強化</p>	<p>・幼児教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について協議するため、園長等管理運営協議会を開催しました。 ・特色ある教育課程の編成、遊びのための環境構成、教師の関わり等について協議するため、幼稚園教育課程研究協議会を開催しました。</p>

<p>読書活動の充実</p>	
<p>学校全体での日常的・継続的な読書活動の推進及び読書指導の充実</p>	<p>・全校一斉の読書活動を推進しました。 （小学校 94.9%、中学校 85.7%、県立高等学校・中等教育学校 78.9%（政令市を含む。）） ・4月23日「子ども読書の日」の取組みを推進しました。 （小中学校 915校で実施。県立高等学校・中等教育学校 95校全校で実施。）</p>

道徳性を養う心の教育の充実	
規範的な行動を促す道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県道徳教育地域指導者研修において道徳教育地域指導者を育成しました。(小学校 12人、中学校 12人)</li> <li>※ 平成17～26年度までに240人が研修を修了</li> <li>・「道徳教育推進校」を指定し、研究成果の普及・啓発を行いました。(6市町村)</li> </ul>

いじめ・不登校、ひきこもり問題の解決	
いじめ・不登校総合対策事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを、政令市を除く県内の全中学校、県立高等学校25校に配置しました。また、中学校配置のスクールカウンセラーを小学校に派遣しました。(3,808件)</li> <li>・スクールカウンセラーのコーディネートや各種相談員への指導助言を行うスーパーバイザーを中学校に配置しました。(各教育事務所に2人ずつ)</li> <li>・児童相談所等の関係機関との連絡調整を支援するために、社会福祉に関して専門的知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置しました。(6市町)</li> <li>・児童生徒の悩みや不安の軽減のため、話し相手・遊び相手としての大学生等をヤングアドバイザーとして、適応指導教室等に派遣しました。(52人、1,115回)</li> <li>・土曜・日曜を含む24時間対応の教育相談「子どもホットライン24」を実施しました。(相談件数 3,963件)</li> <li>・いじめの未然防止及び早期発見・早期対応のための保護者用リーフレットを作成し、全児童生徒に配布しました。</li> <li>・小中連携した不登校の未然防止、早期発見を促進するため、中1不登校等対策強化事業を実施しました。(7市町)</li> </ul>
高等学校不登校・中途退学防止支援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒を対象に学校復帰と社会的自立に向けた相談活動を行うため、訪問相談員を配置しました。(配置人数 13人、訪問回数 1,219回)</li> <li>・生活環境に様々な問題を抱えた生徒に対する支援や保護者への情報提供等を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置しました。(配置人数 4人、対応件数 139件)</li> </ul>

健康教育の充実	
食育啓発活動の推進	教職員を対象とした食に関する研修を実施し、学校における食に関する指導を充実させました。また、学校給食フェアや福岡県給食レシピコンクールを開催し、児童生徒や保護者の食に関する関心を高めました。(学校給食フェア 555人来場、福岡県給食レシピコンクール 682点応募)
スーパー食育スクール事業	栄養教諭を中心に、行政機関や生産者等と連携し、食育を通じた健康増進、地産地消の推進、食文化理解等食育の効果について検証等を行い、その成果の普及に努めました。(食育推進地域 2地域(5小・中学校)指定)
性と心の健康相談事業	県立高等学校95校に、産婦人科、精神科の専門医を派遣し、相談事業を実施しました。(専門医の派遣校数 性の健康相談 88校、心の健康相談 81校)

(少年の非行防止と健全育成)

少年の非行防止と健全育成	
犯罪被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童買春・児童ポルノ禁止法違反や福岡県青少年健全育成条例違反（いん行又はわいせつな行為）等、少年の福祉を害する犯罪（福祉犯）の取締りを強化しました。</li> <li>・非行防止教室等の開催のほか、各種広報媒体（リーフレット・ホームページ等）を活用するなど、少年の被害防止のための広報啓発活動を実施しました。 （非行防止教室等の開催回数 1,300回）</li> <li>・被害少年の早期救出・保護を図るとともに、精神的な負担を軽減するための指導、助言、カウンセリング等を行いました。</li> </ul>
保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の発達段階や校種に応じた学習テーマについて規範意識向上学習会を開催しました。</li> <li>・各学校年1回、専門的な人材を外部講師として招き、児童生徒と保護者が共に学ぶ学習会を開催しました。</li> </ul>
少年非行防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非行少年等の居場所づくりを行う市（北九州市、久留米市）に対して助成しました。</li> <li>・非行少年等に対し、5日間程度の就労体験などを実施しました。 （支援を行った少年 33人）また、協力雇用主に働きかけ、少年の就労体験を受け入れることが可能な事業所の増加を図りました。 （220事業所、対前年度比102事業所増）</li> <li>・県内各地域で開催される非行防止やネット依存防止に関する研修会に県から講師を派遣しました。（132回、参加者計7,826人）</li> </ul>
非行少年を生まない社会づくりの推進	<p>非行少年等に対する立ち直り支援活動（連絡・面接、就学・就労支援、社会奉仕体験活動、料理教室等の居場所づくり等）、関係機関・団体等と連携した街頭補導活動のほか、スクールサポーターを増員し、県下全域においてスクールサポーターによる学校訪問を通じた非行防止活動を展開するなど、少年非行防止に向けた取り組みを実施しました。</p> <p>（スクールサポーターの増員 19人）</p>
薬物乱用防止対策	<p>児童生徒の薬物乱用を防止するため、学校・家庭・地域社会・関係機関が連携できるよう、薬物乱用防止教育指導者養成研修会を開催しました。（研修会参加者 政令市を除く公立小・中・高等学校及び特別支援学校教員 825人）</p>
暴走族対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高校の生徒指導担当者等と連携を図り、「暴走族等加入阻止教室」を開催しました。（開催回数 410回）</li> <li>・保護観察所等の関係機関と連携して、暴走族等の非行少年に対する個別面接指導等を行い、暴走族等グループからの離脱と立ち直りを支援しました。</li> <li>・中・高校生を対象にした「暴走族根絶ポスターコンクール」を行い、青少年の交通法規等の遵守意識の醸成を図るとともに、入賞作品については、ポスター等を作成し、学校等への配布・掲示を実施しました。</li> <li>・関係機関との連携による暴走族等根絶キャンペーン等を積極的に開催し、暴走族等根絶気運の醸成と根絶活動の活性化に向けた広報啓発活動を行いました。（広報啓発活動実施回数 814回）</li> </ul>
青少年のインターネット適正利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年のインターネットの適正利用に向け、官民が連携した実効性の高い施策を推進するため、「福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会」を設置しました。 （協議会 1回、部会 2回 開催）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒たちが自ら考え学ぶことで、正しいインターネットの使い方を身に付けるワークショップ形式の啓発プログラムをNPOと協働して実施しました。(実施 4校、参加生徒 約900人)</li><li>・インターネット上の不適切な書き込みの早期発見と適切な対応を図るため、中学・高校の教員等を対象としてネットパトロール員養成講座を実施しました(県内各地区で実施 249人受講)</li><li>・青少年のネットの適正利用について社会全体で取り組む気運の醸成を図るため、「青少年のインターネット利用を考えるフォーラム」を開催しました。(参加 約350人)</li></ul>
--	---



(6) 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

③信頼される学校をつくる

[目指す姿]

- 教育者としての使命感を持ち、優れた専門性と指導力を持つ教員の育成を目指します。
- 子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境の整備を目指します。
- 児童生徒一人ひとりの多様な興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じた望ましい教育環境を展開する魅力的な学校を目指します。
- 各校が自らの建学の精神に基づき特色ある教育を展開するなど、私立学校教育の充実を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(安心して学べる学校づくり)

信頼される教職員の育成	
教員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の経験年数や職務内容に応じた基本研修を実施しました。(初任者対象の研修、教職2・5・10年経験者対象の研修、教務主任・進路指導主事・生徒指導主事対象の研修、管理職及び新任の主幹教諭・指導教諭対象の研修、新任の学年主任対象の研修)</li><li>・教育センター等において、特定の教育課題に関する課題研修や個々の専門性を高める専門研修を実施しました。</li><li>・各教育事務所において教員の指導力向上の研修を実施しました。</li></ul>
ストレスマネジメント研修(管理職及び中堅教員対象)の実施	自己のストレスを論理的に思考する技術や管理職のストレスマネジメント能力取得のための講座を開催しました。 (管理職研修参加者 755人 中堅教員対象研修参加者 176人)

児童生徒の安全確保	
防犯教育の推進	子ども自身の安全対応能力を育てるため、教職員の指導力向上を図る研修会や参加体験型防犯セミナーを開催しました。
防災教育の推進	防災教育等推進実践校を指定し、学校の実態に応じた防災教育の指導方法や教育手法の実践的な研究を行い、その結果を県下の学校へ周知し、防災教育の充実を図りました。 (実践校 小学校6校、中学校3校、高等学校1校、特別支援学校2校) <ul style="list-style-type: none"><li>・大学教授や防災士等の専門家等及び実践校代表者で組織した防災教育推進委員会を設置し、防災教育の課題とその解決策について協議しました。</li><li>・学校防災アドバイザーを実践校へ派遣し、防災マニュアルや避難訓練の実施について、指導・助言を行いました。 (派遣回数 80回)</li></ul>
通学路の安全推進	通学路における安全を確保するため、特に対策が必要な市町村に対し、通学路安全対策アドバイザーを派遣し、専門的な見地からの指導・助言の下、学校、教育委員会及び関係機関等の連携協力による通学路の安全対策を行いました。 (派遣回数 18回(4市町))

学校施設の整備・充実	
高等学校、特別支援学校の施設整備	老朽校舎等の外壁改修、屋上防水、グラウンド造成等を行いました。(県立高等学校 9校、県立特別支援学校 5校)
校務の情報化の推進	県立学校の管理職やICT担当者等に研修を実施し、職員の情報セキュリティに対する意識の向上を図りました。

教育機会の確保	
高等学校等奨学金事業の実施	経済的理由により修学が困難にならないよう高等学校等奨学金事業を実施しました。(延べ19,847人の生徒に奨学金を貸与)また、多くの生徒が利用できるような制度の周知を行いました。 中学生進路相談事業(生徒、保護者にチラシ配布) 各種媒体による周知・広報(県のホームページ・広報誌等)
高校生等奨学給付金事業の実施	・高校生等が安心して教育を受けられるよう、高校生等奨学給付金事業を実施しました。(奨学給付金支給対象生徒数 8,723人) ・全ての対象者が支給を受けることができるよう、制度の周知徹底を図りました。(高校1年生、中学生及び保護者等にチラシ配布、中学生進路相談事業やホームページによる周知)

(魅力ある学校づくり)

地域に開かれた学校づくり	
学校評価システムの確立	学校の自己評価及び自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施しました。(自己評価及び学校関係者評価の実施率 小学校100%、中学校 100%、県立高等学校 100%)
地域が学校を支援する取組みの推進	・学校、家庭、地域が連携・協働を進めていくことの効果と意義を再認識し、今後の取組みに向けての方向性を探るため、連携推進セミナーを年間3回開催しました。(受講者数 155人) ・住民、保護者等が委員となって学校運営方針の承認などを行う学校運営協議会(コミュニティスクール)に関して情報提供を行いました。

教育ニーズに対応する学校づくり	
中高一貫教育校等の新しいタイプの学校の充実	教育の機会均等を確保するという観点から、県立中高一貫教育校未設置地区(福岡地区及び筑豊地区)に、平成27年度開校に向け、平成26年11月1日に宗像中学校及び嘉穂高等学校附属中学校を設置しました。
三公立大学法人における大学の個性を活かした教育	社会の発展に貢献できる優れた人材を育成するために、中期目標において以下の「目標」を掲げ、大学の個性を活かした特色ある教育を実践しました。 ・九州歯科大学では、「歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人の育成」を行いました。 (卒業生の歯科医師国家試験合格率 87.1%(全国平均73.0%)) ・福岡女子大学では、「グローバルな視点に立って国内外で幅広く活躍することができる女性の育成」を行いました。 (卒業生の就職率 98.3%(全国平均96.7%)) ・福岡県立大学では、「保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍する資質を持った優秀な職業人の育成」を行いました。 (卒業生の看護師国家試験合格率 98.7%(全国平均95.5%))

(私立学校教育の充実)

私立学校教育の充実	
私立学校、私学団体に対する助成	私立学校の教育条件の維持向上を図るため、私立学校の運営等及び私学団体の事業に対して助成しました。 (幼稚園 415園、小学校 8校、中学校 27校、高等学校 59校、専修学校 23校、各種学校 1校)
私立高等学校の授業料減免に対する助成	修学に係る経済的負担を軽減するため、私立高等学校が減免した授業料に対して助成しました。 (授業料を減免した生徒 12,374人)

(7) 誰もが元気で健康に暮らせること

①生涯を通して健康で過ごせる社会をつくる

[目指す姿]

- 生活習慣の改善など、県民の健康づくりを積極的に支援し、県民一人ひとりが長生きしてよかったと実感できる社会を目指します。
- こころの健康を支える社会を目指します。
- 難病患者やその家族の不安や悩みが軽減される社会を目指します。
- 感染症予防や治療のための体制整備を行い、県民の健康被害に対する不安の解消を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(県民の健康の保持増進)

健康づくりの推進	
自主的な健康づくりの支援	医師会や保険者、市町村等の関係者が連携した効率的な健康づくり、特定健診・保健指導の普及啓発を推進するため、「いきいき福岡健康づくり推進協議会」や「地域・職域連携会議」を開催し、自主的な健康づくりの取組み等について協議しました。 (保健福祉(環境)事務所毎に年2回の開催)
「健康21世紀福岡県大会」の開催	県民の自主的な健康づくりを支援し、働き盛り世代を中心とした内臓脂肪症候群に着目した生活習慣病予防の普及啓発を行うため、「健康21世紀福岡県大会」を開催しました。 (H26年11月 筑後市で開催 参加者数 約2,500人)
福岡県健康ポータルサイトを活用した健康づくり支援	・いつでもどこからでもアクセスができるというITの利点を活かした「福岡県健康ポータルサイト」を構築して、生活習慣改善のための情報提供を行い、県民の生活スタイルに応じた健康づくりを支援しました。 ・大型商業施設などの県民が集まる場所において、「福岡県健康ポータルサイト」の体験利用や体脂肪測定等の健康チェックを行い生活習慣改善メニューの紹介や健(検)診受診勧奨を実施しました。(自主的健康づくりのきっかけ提供 83会場、5,247人)
(再掲)(3)-② ロコモ予防の普及啓発	・ロコモティブシンドローム(運動器症候群)予防のため、自宅で簡単に取り組める自己チェック方法や運動(ロコトレ)を普及する「ロコモ予防推進員」を養成し、この推進員によるロコモ予防の普及啓発に取り組みました。 (ロコモ予防推進員数 1,082名、ロコモ予防推進員の活動回数 5,842回、ロコモ予防推進員が啓発を行った人数 99,266人) ・福岡県健康ポータルサイトに、ロコモの自己チェックができるコーナーや、ロコモに関する知識・ロコトレを分かりやすく紹介する動画などを提供するロコモ予防コーナーを新たに追加しました。 ・「健康21世紀福岡県大会」、「食と健康推進フォーラム」のイベントや、広報番組、広報誌、新聞公告を通じた普及啓発を行いました。

生活習慣病対策の推進	
総合健診の推進	県民の健診受診の利便性の向上を図ることで、受診率を向上させるため、がん検診と特定健診が同時に実施できる体制を整備しました。(実施市町村数 44市町村)
特定保健指導の人材確保・育成	効果的な保健指導の実施を図るため、特定保健指導従事者(医師、保健師、栄養士など)を対象とした研修会を開催しました。(特定保健指導従事者研修会 6回、受講者数 延べ769人)
中小事業所の健康づくりに対する支援	中小事業所の事業主に対する特定健診・保健指導等受診勧奨や事業所への健康づくりアドバイザー派遣により、生活習慣に関する自主的健康づくりに取り組めるよう支援しました。(経営者に対する健康づくりの啓発 35回、3,992人) (健康づくりアドバイザー派遣 25事業所、受講者数 1,143人)

がん対策の推進	
がん対策推進計画の推進	「福岡県がん対策推進計画」に基づき、がん治療の選択肢を広げるため、平成26年度から「重粒子線治療費利子補給事業」を開始しました。(助成件数 2件)
がん検診受診率向上対策	働く世代のがん検診受診率向上を図るため、事業所に「がん検診推進員」を置き、従業員等に対するがん検診の受診勧奨や啓発活動の推進を図りました。(働く世代をがんから守るがん検診推進事業参加登録事業所数 2,441事業所)
肝炎ウイルスの無料検査	保健福祉(環境)事務所や指定医療機関においてB型及びC型肝炎ウイルス検査を無料で実施しました。(受検者数 2,750人)
肝炎治療費の助成	慢性肝炎患者のインターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療を受ける予定又は治療中の方に対して、医療費の一部を助成しました。(受給者証新規交付者数 3,004人)

歯科保健の推進	
8020運動の普及啓発	県民に対する歯科口腔保健に関する正しい知識の普及・啓発のため、県歯科医師会と連携して街頭啓発イベントや講習会などを実施しました。(街頭啓発イベント参加者数 約3,000人)
在宅の歯科衛生士の活用支援	地域における歯科口腔保健活動に従事する歯科衛生士を確保するため、医療機関に従事していない在宅の歯科衛生士について、登録名簿の作成、就業に係る相談・情報提供、研修を行いました。
歯科口腔保健推進計画の実施	「福岡県歯科口腔保健の推進に関する条例」及び「福岡県歯科口腔保健推進計画～歯っぴいすこやか推進計画」に基づき、学童期におけるむし歯予防、事業所従業員の歯周病疾患予防、高齢者施設における口腔ケアの定着促進に取り組みました。

### (こころの健康の保持増進)

こころの健康・自殺防止対策の推進	
自殺防止総合相談窓口	24時間365日の自殺防止相談窓口として設置している「ふくおか自殺予防ホットライン」で、電話相談を実施しました。(電話相談件数 1,933件)
一般科医師と精神科医師の連携強化	一般科医(かかりつけ医)から精神科医へうつ病の疑いのある者を紹介する体制を構築するため、各郡市医師会単位での連絡協議会及び研修会を開催しました。(連絡協議会開催 18医師会、研修会開催 20医師会)

自殺未遂者に対する支援	自殺未遂者の再度の自殺行為を防ぐために、救急医療機関に配置されたコーディネーターが搬送された自殺未遂者の自殺を図った要因を調査し、司法書士や弁護士等の関係機関につなぐなどの支援を行いました。(実施医療機関数 4病院)
精神保健相談	保健福祉(環境)事務所及び精神保健福祉センターにおいて、こころの病に関する悩みなどの精神保健相談を行いました。 (相談件数 保健福祉環境事務所 14,716件、精神保健福祉センター 5,488件)

ひきこもり対策の推進	
ひきこもり地域支援センターによる支援	精神保健福祉センターに設置しているひきこもり地域支援センターにおいて、専任のコーディネーターが電話及び来所相談を実施するとともに、ひきこもり者宅への訪問や就労支援窓口への同行など、ひきこもり者及び家族を支援しました。 (電話相談件数 787件、来所相談件数 448件、訪問支援人数 6人、同行支援人数 2人)

(難病患者等の支援)

難病患者等への支援の充実	
難病相談・支援センターでの相談事業	難病相談・支援センターにおいて、医療等各種相談、難病に関する情報提供、難病患者の就労支援を行いました。 (相談件数 1,120件)
在宅重症難病患者の家族介護者支援(レスパイト入院事業)	在宅で人工呼吸器を使用する重症神経難病患者の家族介護者が休養等を必要とする時に、患者の一時的な入院(レスパイト入院)ができる病院を確保し在宅療養の継続を支援しました。 (受け入れ病院数 40病院)

(健康被害の防止)

感染症対策の推進	
感染症指定医療機関の機能充実	感染症患者を受け入れるため、感染症病床(施設整備、陰圧装置等)の整備を推進しました。 (感染症病床数 福岡ブロック 24床、北九州ブロック 16床、筑豊ブロック 8床、筑後ブロック 10床)
抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	新型インフルエンザの発生に備え、抗インフルエンザウイルス薬を備蓄しています。
結核、H I V等の感染症対策	結核、H I Vをはじめとする様々な感染症の発生予防及びまん延防止を図るため、退院後の結核患者に対する保健師の訪問による服薬支援、啓発イベント期間に合わせた夜間休日におけるH I V抗体検査等を行いました。
人と動物の共通感染症対策における医療と獣医療の連携推進	人と動物の共通感染症の発生予防及びまん延防止を図るため、県医師会及び県獣医師会と連携した協議会の設置、発生を想定した訓練、人と動物の共通感染症対策シンポジウム、共通感染症発生状況等調査、狂犬病予防のための犬の飼養実態調査を実施しました。 (シンポジウムの参加人数 480人、共通感染症発生状況等調査検体数 121検体、アンケートによる犬の飼養実態調査 3,000件)

- (7) 誰もが元気で健康に暮らせること  
 ②誰もが必要な医療を受けられる社会をつくる

【目指す姿】

- 医療提供体制の充実や医療保険制度の安定的な運営により、誰もが安心して必要な医療を受けることができる社会を目指します。

【主な取組みの実施状況】

(医療提供体制の確保)

救急医療体制の確保	
救急医療施設の運営費に対する助成	初期から三次救急医療体制の確保・充実を図るため、救命救急センターなどの関係機関に対し、運営費を助成しました。
救急医療情報センターの運営	救急医療情報センターにおいて、救急医療機関から患者受入の可否や診療内容に係る情報を収集し、消防機関・医療機関及び県民からの問い合わせに対し、24時間365日体制で必要な情報提供を行いました。(ホームページアクセス件数 累計2,470,110件)
ドクターヘリ運航事業に対する助成	ドクターヘリを運航する高度救命救急センターに対し、運営費を助成しました。(ドクターヘリの年間出動回数 411回)
自動体外式除細動器(AED)の普及啓発	非医療従事者に対する自動体外式除細動器(AED)の使用方法などの講習会を開催しました。
(再掲)(3)-④ 精神科救急医療システム	夜間・休日においても精神疾患の患者に迅速・適切な医療を提供するため、精神科救急医療情報センターにおいて、患者等から相談を受け、入院医療が必要な方を、県内4ブロックの精神科輪番病院での治療につなげました。(情報センターにおける受付件数 1,950件、医療機関受診 517件)

在宅医療の推進	
地域在宅医療支援センターの運営	地域特性に合わせた在宅医療支援を行うため、全ての保健福祉(環境)事務所に設置している地域在宅医療センターにおいて、ネットワーク構築のための「地域在宅医療推進協議会」を開催し、地域の医療資源情報の共有化を図るとともに、患者・家族等からの相談に対応しました。(相談件数 2,067件)
多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療を担う医師、薬剤師、看護師などの多職種がそれぞれの専門性を生かし、チームとして在宅療養患者を支援する体制を整備するため、地域特性に応じた研修を行い、多職種の地域リーダーを育成しました。(地域リーダー研修受講者数 97人)</li> <li>地域リーダーによる地域の多職種連携研修を実施しました。(多職種連携研修受講者数 10,682人)</li> </ul>

へき地医療対策の推進	
へき地等の医療機関への医師の派遣	自治医科大学を卒業した医師を県職員として採用し、へき地等医師確保が困難な地域の医療機関へ派遣しました。(派遣医師数 12人)
へき地診療所の運営費に対する助成	へき地診療所の運営費に対して助成しました。(助成した診療所数 7か所)

へき地医療拠点病院の運営費に対する助成	無医地区を対象とした巡回診療やへき地診療所に対する代診医の派遣に対して助成しました。 (巡回診療 1 病院、代診医派遣 4 病院)
---------------------	--

医療機関における安全確保	
医療相談事業	福岡県メディカルセンターに保健師等の専門家を配置し、医療に関する患者の苦情や相談等に対応しました。(相談件数 995 件)
医療事故防止対策研修会	医療事故・院内感染等の防止を図るため、医療機関に対する研修会を開催しました。(参加病院数 135 病院)

医薬品等の安全確保	
福岡県献血推進運動大会の実施	献血思想を普及・啓発し、安定的な献血者の確保を図るため、第47回福岡県献血推進運動大会を実施しました。 (H26年7月 黒崎ひびしんホール(北九州市) 参加者数 約500人)
医薬品等に関する情報提供及び相談対応	医薬品等による健康被害を防止するため、薬事情報センター(福岡県薬剤師会が運営)で行う、医療関係者及び県民に対する医薬品等に関する情報提供や相談対応事業へ助成しました。 ・医療機関、薬局からの相談対応(3,950件) ・「くすりなんでもテレホン」による県民からの医薬品等に関する相談対応(1,640件)

医療・看護を担う人材確保	
(再掲)(7)-② へき地等の医療機関への医師の派遣	自治医科大学を卒業した医師を県職員として採用し、へき地等医師確保が困難な地域の医療機関へ派遣しました。 (派遣医師数 12人)
寄附講座の設置による医師派遣	大学に寄附講座を設置し、研究プログラムの一環として大学から医師確保が困難な地域の公的医療機関等に医師を派遣しました。 (九州大学、福岡大学、久留米大学に設置)
医学部生への奨学金の貸与	久留米大学医学部に設けた福岡県特別枠の入学試験合格者に対して奨学金を貸与しました。 (貸与学生数 累計8人)
看護学生等への修学資金の貸与	看護師等養成施設に在学する学生で、卒業後に県内の小規模医療機関等に就労しようとする者に対し、修学資金を貸与しました。 (貸与学生数 207人)
看護師等養成所の運営費に対する助成	看護師、准看護師、助産師を養成する施設に対し、運営費を助成しました。(助成施設数 33施設)
看護職員の復職の支援	福岡県ナースセンターにおいて、無料職業紹介や再就業移動相談を実施するとともに、看護力再開発講習会を開催しました。 (講習会参加者数 55人、復職者数 29人)
病院内、産科院内保育所の運営費に対する助成	医師、看護職員の離職を防止し、復職を支援するため、院内に保育施設を設置・運営している病院に対し、運営費を助成しました。 (病院内保育所助成 58施設、産科院内保育所助成 4施設)
医師の地域偏在や診療科偏在の緩和・解消	平成26年5月に、医師の地域偏在の緩和、解消等を図ることを目的に「地域医療支援センター」を設置し、関係団体・医療機関等と連携して、医師不足状況等の調査、臨床研修医確保対策の検討を行いました。



医療勤務環境の改善	平成26年4月に、医師・看護師等の離職防止や医療安全の確保等を図ることを目的に「医療勤務環境改善支援センター」を設置し、医療機関に対する研修会、実態把握のための調査、医療労務管理・医療経営アドバイザーの派遣等を行いました。
-----------	---

(医療保険制度の安定的な運営)

医療費の適正化	
医療費適正化計画の推進	「第2期医療費適正化計画」を推進するため、関係各課で構成する「福岡県医療費適正化推進会議」や関係機関・団体等から構成される「福岡県医療費適正化計画推進委員会」を開催し、施策の実施状況や計画の進捗状況に関する意見を伺いました。
(再掲)(7)-① 総合健診の推進	県民の健診受診の利便性の向上を図ることで、受診率を向上させるため、がん検診と特定健診が同時に実施できる体制を整備しました。(実施市町村数 41市町村)
(再掲)(7)-② 地域在宅医療支援センターの運営	地域特性に合わせた在宅医療支援を行うため、全ての保健福祉(環境)事務所に設置している地域在宅医療センターにおいて、ネットワーク構築のための「地域在宅医療推進協議会」を開催し、地域の医療資源情報の共有化を図るとともに、患者・家族等からの相談に対応しました。(相談件数 2,067件)
高医療費市町村における医療費適正化の推進	特別な事情を除き医療費が高い市町村を指定し、指定市町村が行う医療費の要因分析や医療費適正化に関する事業の企画・実施等を支援しました。(大牟田市など6市町村が行う若年層健診や保健師による生活習慣病予防のための訪問指導などの実施を支援)
ジェネリック医薬品使用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者、関係団体及びモデル病院等で構成する福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会において、ジェネリック医薬品の使用促進に係る問題点及び課題の検討を行いました。</li> <li>・後期高齢者広域連合及びモデル保険者(9市町)が行う薬剤費削減可能額通知事業を支援しました。</li> </ul>

(7) 誰もが元気で健康に暮らせること

③社会的に厳しい状況にある生活困窮者等を支える

【目指す姿】

- 生活保護世帯等の早期の自立を目指します。
- 中国帰国者及び戦傷病者等の自立と生活の安定を目指します。

【主な取組みの実施状況】

(生活保護受給者等の自立支援・適正実施の推進)

自立支援体制の推進	
生活保護を受給する若年者等の早期自立・就労支援	生活保護を受給する若年者の就労、自立促進のため、民間職業カウンセラーを派遣し、職業紹介や就労支援策活用の助言等を行いました。(職業カウンセラーの配置日数 延べ3,900日)
生活困窮者の自立支援	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施しました。(支援調整会議の開催数 1回/月)

医療扶助の適正化	
生活保護受給者のレセプト点検	レセプト(診療報酬明細書)の資格審査(医療扶助の受給資格、受給期間の点検)、内容点検(診療内容、診療点数の点検)を行いました。(過誤調整率 0.58%)
生活保護受給者に対する適正受診指導	向精神薬の重複処方者へ適正指導(指導改善者数 66人)を行うとともに、薬局に対してジェネリック医薬品の使用促進について協力依頼しました。 (適正受診指導員による薬局訪問指導 192薬局)
頻回受診者に対する適正な通院指導	月に15日以上通院している患者への指導を行いました。 (頻回受診者指導による改善者数 40人)
長期入院患者に対する社会復帰促進	長期入院患者に対して社会福祉士により退院先を確保しました。 (長期入院患者の退院者数 71人)

ホームレスの自立支援	
ホームレスの自立支援ネットワークづくり	福岡県ホームレス自立支援協議会を設置し(年1回開催)、研修会の開催、ホームレス実態調査(ホームレス概数調査、生活実態調査)を実施しました。

(中国帰国者及び戦傷病者等の援護)

中国帰国者及び戦傷病者等の自立・生活支援	
中国帰国者への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・中国帰国者の永住帰国後の早期定着自立等を支援するため、日常生活面での相談や助言、支援給付金に関する生活相談等を行いました。</li><li>・福岡県中国帰国者自立促進協議会において、中国語の出来る相談員が、登録している中国帰国者等に電話や家庭訪問を行い、日常の会話から各種の悩み事まで、多岐に亘った話相手をしました。(利用 398件)</li><li>・中国帰国者が言葉や文化の壁を乗り越えて、地域社会にとけ込む機会をつくるため、地域での交流事業を開催しました。</li></ul>

	<p>(参加者数 延べ161人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が堪能でない中国帰国者等が、医療機関で適切な受診が出来るように、医療用語のわかる通訳を養成しました。</li> </ul> <p>(受講者数 延べ211人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国帰国者等がいきがいを持ち、地域社会で自立した生活ができるように、実践的に、働きながら、日本語会話や就労の訓練をしました。(参加者数 延べ94人)</li> <li>・県内7町の10世帯12人の中国残留邦人等に対して支援給付を実施しました。</li> </ul>
戦傷病者等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県戦没者追悼式を開催するとともに、遺族代表者が全国戦没者追悼式等へ参列しました。</li> </ul> <p>(主催：福岡県戦没者追悼式(8月)、参加：全国戦没者追悼式(8月)、沖縄地域戦没者追悼式(1月)、海外戦没者慰霊巡拝事業(7月、11月))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦没者遺族等に対する遺族年金や各種給付金等の給付や相談対応を行いました。</li> <li>・軍人軍属等であった方で、公務上の傷病にかかり、一定程度以上の障害を有する方や療養の必要がある方に対して、戦傷病者手帳を交付し、療養の給付や補装具の支給と修理等を行いました。</li> </ul>

[ ]

[ ]

	1,278
	22
26	
	15

	566

---

	1,278
	25



[ ]

[ ]

	30 183
	25 26

	30 183
	549
	59



(9) 環境と調和し、快適に暮らせること

①低炭素社会・循環型社会をつくる

[目指す姿]

- 県民一人ひとりに省エネ・省資源に取り組む意識が浸透し、CO<sub>2</sub>削減が図られ、地球温暖化対策が進展する社会を目指します。
- 県民・事業者による3R（発生抑制、再使用、再生利用）の取組が普及し、限られた資源が有効に利用される社会を目指します。
- 環境技術の開発・実用化により、環境負荷の少ない安全・安心な社会を目指します。
- 廃棄物の不法投棄などがなく、廃棄物が適正に処理され、快適に暮らせる社会を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(低炭素社会・循環型社会の推進)

地球温暖化対策の推進・省エネルギーの普及促進	
中小企業の省エネ促進	県内中小企業等の省エネルギー対策の促進及び温室効果ガスの排出削減を図るため、人材育成、情報発信するとともに、相談対応を行いました。(省エネ現場指導 75件)
地球温暖化対策の普及啓発	福岡県地球温暖化防止活動推進センターにおいて、県民や事業所を対象に、地球温暖化の現状や対策についての普及啓発、広報活動を行うとともに、県内の温室効果ガス排出量の調査や地域の温暖化対策活動支援などを行いました。 (地域イベント参加者への啓発 13,102人、エコサポーター派遣による座学啓発 7,349人、子ども環境家計簿取組数 1,913人)
省エネ・節電の推進	夏季及び冬季の省エネ・節電宣言を行った県民に対し、宣言証を進呈し、協賛企業の店舗で割引等の特典を受けることができる仕組みをつくりました。前年度と比較して電気使用量を削減できた世帯には、抽選で達成賞を進呈し、県民の省エネ・節電の取組みを推進しました。 (省エネ節電県民運動参加者数 163,727人、協賛企業数 106団体(夏季 69団体、冬季 37団体)) (街頭啓発 46回(夏季 23回、冬季 23回))

環境負荷の少ない社会づくりの推進	
道路照明・交通信号機のLED化	エネルギー効率の向上及び環境負荷の低減を図るため、既設道路照明、信号灯器のLED化を行いました。 (既設道路照明 808基、信号灯 1,135基)
長期優良住宅の普及促進	省エネルギー性能に優れ長寿命化が図られた長期優良住宅の供給促進のため、県内の金融機関と連携し、各金融機関による独自住宅ローンの優遇制度を実施しました。 (優遇制度を実施する金融機関 28機関)
「快適な住まいづくり推進助成制度」の実施	耐久性やバリアフリー性能など県が定める基準(長期優良認定を含む)に適合する住宅を建設する建て主に対して、住宅の建設費の一部を助成しました。
既存住宅の建物検査実施	・安心して既存住宅の取引を行える環境を整備することによって、住宅の流通を促進するため、専門家による「住まいの健康診断」(建物検査)を実施し、その結果について情報提供を行いました。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物検査制度を普及させるため、検査を実施した住宅の購入者が質の向上を図るリノベーションを行う際の工事費の一部を助成しました。</li> <li>(建物検査を実施した住宅数 206件、うち売買成約数 98件)</li> </ul>
--	--

資源の有効利用の推進	
ごみ減量化に関する普及啓発	<p>ごみ減量化に関する普及啓発の一環として、10月を強化月間と定め、レジ袋の削減に取り組む一斉行動参加店の募集、強化月間の広報を行うマイバッグキャンペーンを実施しました。</p> <p>(一斉行動参加店数 2,494 店、マイバッグ持参率 30.6%)</p>
リサイクル製品の活用促進	<p>品質・安全性に係る審査を行い、リサイクル製品の認定を行いました。また、認定後も製品の基準適合性を定期的に確認することにより、品質管理を行うとともに、パンフレットやホームページによる認定製品の普及啓発を行いました。</p>
リサイクル技術及び社会システムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル総合研究事業化センターにおいて、産学官民と連携して、リサイクル技術の開発及び社会システムの構築を行い、下記の実用化を図りました。(醤油粕から天然ヒト型セラミドの生産技術、かまぼこ製造時に発生する魚のあらを利用した魚醬)</li> <li>・福岡都市圏における紙おむつリサイクルの事業化を目指して、広域回収実証実験を行うとともに、検討委員会において、実現可能なリサイクルシステム案の検討を行いました。(開催回数3回)</li> </ul>
下水汚泥の減量化・資源化	<p>下水汚泥を資源化し、緑農地利用、建設資材、火力発電所における混焼燃料などに有効利用しました。</p>

廃棄物の適正処理の推進	
産業廃棄物処理業者実務研修	<p>(公社)福岡県産業廃棄物協会を活用し、処理業者の実務担当者等に対する研修を実施しました。</p> <p>(実務従事者研修会 604 人(福岡・北九州・筑豊・筑後計8回開催)、適正処理マネジメント研修会 494 人(福岡 4回開催))</p>
PCB廃棄物の処理促進	<p>(独)環境再生保全機構が、中小企業者のPCB廃棄物処理費用の負担軽減のために設置した基金に対して助成しました。</p> <p>(処理実績 コンデンサ等 109 個、安定器等 3,176kg)</p>
産業廃棄物リサイクル施設の整備費補助	<p>産業廃棄物の再資源化事業者が行うリサイクル施設の整備に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>(補助率 1/3 以内、補助額 上限3,000 万円)</p>
産業廃棄物排出事業者への講習会	<p>県内の4ブロック(福岡・北九州・筑豊・筑後)において、建設系の産業廃棄物排出事業者を対象として、適正処理のための講習会を開催しました。</p>
産業廃棄物処理業者への講習会	<p>県内の3ブロック(福岡・筑豊・筑後)において、産業廃棄物処理業者を対象として、適正処理のための講習会を開催しました。</p>
産業廃棄物運搬車両検問	<p>マニフェスト制度(産業廃棄物の適正処理を確認する制度)の適正運用を図るために、運搬車両の検問を実施し、公道上での積載廃棄物とマニフェスト記載内容の突合等を行いました。(15か所)</p>
産業廃棄物安定型処分場掘削調査	<p>産業廃棄物の安定型最終処分場における処理の状況を詳細に把握するため、掘削調査を行いました。(4か所)</p>
不適正処理現場の改善	<p>長期化している産業廃棄物の不適正処理事案(1件)について、排出事業者の協力を得て、放置廃棄物を撤去しました。</p>

(9) 環境と調和し、快適に暮らせること

②多様なエネルギーを確保する

[目指す姿]

- 県内の各地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入・効率的なエネルギー利用を進め、環境にやさしく持続的発展が可能な社会を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(多様なエネルギーの確保と効率的な利用の促進)

県による再生可能エネルギー等の率先導入	
県有施設への太陽光発電システム等の導入	新・改築を行う延床面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上の県有施設に太陽光発電設備を設置しました。(県立学校 1 施設、女性相談所)
県有施設における省エネルギー対策の推進	・省エネ効果が期待される県有施設を対象に、高効率照明への更新を行いました。(吉塚合同庁舎、クローバープラザ、障害者リハビリテーションセンター、県立図書館、社会教育総合センター、下水道施設 1 施設) ・総合庁舎 2 施設において、高効率空調への改修を行いました。
(再掲) (9) -① 道路照明・交通信号機の LED 化	エネルギー効率の向上及び環境負荷の低減を図るため、既設道路照明、信号灯器の LED 化を行いました。 (既設道路照明 808 基、信号灯 1,135 基)
県の防災拠点や避難所への再生可能エネルギー等の導入	災害発生初期に最低限必要な機能を確保するため、防災拠点や避難所となる県有施設において、太陽光発電設備や蓄電池を導入しました。(県有施設 14 施設)

地域の特徴を活かした再生可能エネルギーの導入促進	
再生可能エネルギー導入支援システムの構築	再生可能エネルギーの導入検討に必要な基本情報を提供する全国初のシステム「再生可能エネルギー導入支援システム」に太陽光発電量簡易計算機能の追加等を行いました。 (システム利用者数 累計7,313人)
市町村・民間事業者による再生可能エネルギー設備導入への支援	市町村が行う導入可能性調査(6件)、設備導入(2件)に対して助成しました。
県有施設の屋根貸し等による太陽光発電の普及促進	公募により、県有施設の屋根において、太陽光発電事業に取り組む民間事業者を選定しました。(1施設)
エネルギー需給の安定化に向けた地域の役割や取組みの研究	分散型電源や高効率発電の普及、エネルギーの効率的利用の促進など地方の役割や取組みを幅広く研究する「福岡県地域エネルギー政策研究会」(平成25年2月設置)から、2年間にわたる検討結果を取りまとめた報告書が提出されました。(平成27年3月)
市町村・民間事業者の防災拠点や避難所への再生可能エネルギー等の導入支援	災害発生初期に最低限必要な機能を確保するため、防災拠点や避難所となる施設に太陽光発電設備や蓄電池等を導入する市町村・民間事業者に対して助成しました。 (市町村施設 57 施設、民間施設 3 施設)
エネルギー対策特別融資制度の創設	県内中小企業における省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備等の導入を促進するため、「エネルギー対策特別融資制度」を創設しました。(融資件数 29 件、融資総額 406,999 千円)
中小水力発電の導入検討	発電事業者と機器の使用や運用開始時期など、実施に向けた協議を行いました。(2ダム)

農業生産現場でのエネルギー自給力の向上	農業用水などの地域資源を活用して、ハウス施設など営農等に必要電力を供給するエネルギーシステムを構築するため、整備済みの発電施設の改良を行い、その効果を評価しました。 (実施施設 3か所)
---------------------	--

その他多様なエネルギーの効率的利用	
「コージェネレーション導入セミナー」の開催	コージェネレーションの特長や、最新技術・導入事例、国や県の導入支援制度などを紹介する「コージェネレーション導入セミナー」を開催しました。 (福岡市 2回、北九州市 1回、久留米市 1回)

(9) 環境と調和し、快適に暮らせること

③豊かな自然環境を守る

[目指す姿]

- 多様な主体の取組により、豊かな自然、生物多様性が保全され、その恵みを将来にわたって享受できる自然共生社会を目指します。
- 緑豊かで多面的機能が持続的に発揮できる農山村を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(自然環境の保全)

豊かな自然と生物多様性の保全	
「福岡県生物多様性戦略」の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学生等を対象とした県民参加型生きもの調査「ふくおか生きもの見つけ隊」を実施しました。</li><li>・英彦山における絶滅危惧種保護のため、分布状況・生育調査、種子の採取、保存及びシカ防護柵の設置を行いました。</li><li>・ペット外来種の終生飼養を啓発するためのグッズを作成するとともに、販売業者への説明会を実施しました。</li><li>・生物多様性に配慮した公共工事实施のための「福岡県公共工事配慮指針」を策定しました。</li><li>・生物多様性の普及や保全等に関して専門的な知識を有する「生物多様性アドバイザー」の登録及び派遣を行いました。</li></ul>
希少野生生物の保護推進	福岡県版レッドデータブック改訂版の発刊及び福岡県レッドデータブックホームページのリニューアルを実施し、情報発信を行いました。
鳥獣保護区等の更新	指定期間が満了する鳥獣保護区の更新を行いました。 (鳥獣保護区 4か所)
環境影響評価審査	環境影響評価法及び福岡県環境影響評価条例に基づき、4件の対象事業について環境影響評価手続を行いました。
自然公園等の整備	案内板、標識など自然公園施設及び九州自然歩道施設を整備しました。(自然公園施設整備 2箇所(玄海国定公園 2箇所) 九州自然歩道施設整備区間 25km)
平尾台自然観察センターの運営	平尾台自然観察センターにおいて、平尾台の野草などを紹介する展示作品展(7回)、自然観察会などのイベント(38回)を開催しました。(施設の年間利用者数 46,006人)
ふれあいの川づくり	生態系に配慮した川づくりの一環として、回遊魚等が移動しやすいように、遡上が困難な横断工作物に魚道を整備しました。 (魚道の設置数 3基(日向川、犬鳴川、今川))

(森林環境と田園空間の保全)

森林の保全と荒廃森林の再生	
公益的機能の高い森林の保安林指定の推進	水源のかん養や山地災害の防止など、森林の持つ公益的機能を保全するため、保安林の計画的な指定を進めました。 (H26年度末現在の保安林指定面積 103,877ha)
荒廃森林の再生	・森林の持つ公益的機能を回復させるため、長期間手入れがなされず植生の減少や土壌の流出が認められる森林を対象に、間伐等の森林整備(2,606ha)を行いました。

防風林や防砂林などの機能の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の松くい虫被害の急増を受け、平成25年度から森林環境税を活用した防除対策を強化しました。</li> <li>・松くい虫被害予防対策として、松林への薬剤の空中散布（27ha）及び地上散布（209ha）並びに松への薬剤の注入（2千本）を実施しました。</li> <li>・被害木の駆除対策として、被害木が翌年度の感染源とならないように、伐倒駆除（1,218m<sup>3</sup>）を徹底しました。</li> <li>・松くい虫被害は国有林においても急増しており、一体的に対策を講じる必要があることから、国、県、市町等からなる県森林病虫害等防除連絡協議会や地区協議会を開催し、被害情報の共有と適切な防除方法の徹底を協議するとともに、防除に係る技術的な現地研修会を実施しました。（私有林の平成26年度被害量 約2千m<sup>3</sup>（近年最も多かった24年度の約3割に減少））</li> </ul>
-----------------	---

美しい田園空間の保全	
水田農業を支える集落機能の維持	<p>地域ぐるみで取り組む農道や農業用水路の管理、農村環境の保全のための活動に対して支援を行いました。</p> <p>（農道、農業用水路の管理に取り組んだ組織数 869組織）  （活動組織に対する研修会 6会場、参加者数 1,848人）</p>

(9) 環境と調和し、快適に暮らせること

④快適な生活環境をつくる

[目指す姿]

- さわやかな空気、清らかな水、安全な土壌などが守られた健全で恵み豊かな環境、清潔で安らぎのある快適なまちを目指します。
- 人と動物が共生し、快適に暮らせる社会を目指します。

[主な取組みの実施状況]

(快適な生活環境の形成)

快適な生活環境の保全・創出	
県内の公共用水域及び大気汚染状況の監視調査	河川、湖沼、海域等の公共用水域及び大気汚染状況の監視調査を行いました。既存の大気測定局の空白地域に測定局を4局増設しました。 (調査地点数 公共用水域等 152 地点、大気 14 地点)
県内のダイオキシン類の汚染状況の監視調査	大気、水質及び土壌等におけるダイオキシン類の汚染状況の監視調査を行いました。 (年間における各環境調査件数 大気調査 6 件、公共用水域調査(含む底質調査) 22 件、地下水調査 4 件、土壌調査 8 件)
大牟田川環境対策事業(ダイオキシン類の土壌封じ込め事業)の推進	平成25年度に汚染土壌の封じ込め等の対策工事を完了した大牟田川環境対策事業について、引き続きモニタリング調査を実施しました。
PM2.5 測定機器の維持管理	福岡県域のPM2.5による大気汚染状況を把握するため、測定機器の維持管理を行い、政令市が測定したデータと併せて県ホームページにて情報提供しました。(PM2.5 測定機器 14 基)
騒音測定業務	道路騒音、航空機騒音及び新幹線騒音の測定を実施しました。 (騒音測定地点数 57 地点)
下水道や浄化槽などの汚水処理施設の整備	流域下水道の整備を進めるとともに、個人や市町村に対して浄化槽設置費用を助成しました。
ダム建設や水源地域の振興	洪水調節や水道用水の安定供給のため、ダム建設を進めるとともに、水源地域の振興を図るため、道路整備等を行いました。 (五ヶ山ダム、伊良原ダム、小石原川ダム)
水道広域化施設整備	市町村域を越えた広域水道施設整備を行う水道企業団等に対し、財政支援を行いました。(建設利息債の償還元金の1/2以内)
交通連携施策の推進	学識経験者、県民、交通事業者、行政などを構成員とする「交通連携施策検討協議会」を開催し、交通連携施策の検証と提案を行いました。(協議会の開催 4 回)
県営公園の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在整備中の筑後広域公園は、体験エリアやスポーツゾーンなどの整備を行いました。</li><li>・他の8公園については、園路やトイレなどの公園施設のバリアフリー化及び老朽化に伴う更新を行いました。</li></ul>
(再掲)(3)-② 県営住宅のバリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"><li>・狭小で老朽化した県営住宅の建替事業により、バリアフリー化を進めました。(建替工事着手戸数 248 戸)</li><li>・また、バリアフリー化していない県営住宅のうち、高齢者の入居率が高い団地や設備等の改善が必要な団地において、福祉型改善(エレベーター設置及び住戸内改善)に積極的に取り組むことでバリアフリー化を進めました。(改善工事着手戸数 20 戸)</li></ul>

良質な民間賃貸住宅の供給支援	高齢者や子育て世帯等に向けた地域優良住宅については、補助制度を活用した2件24戸の地域優良賃貸住宅が建設されました。
----------------	--

美しいまちづくりの推進	
福岡県まちづくり専門家派遣	良好な街並みの形成や美しいまちづくりを自主的に行おうとする地域住民団体や市町村を支援するため、各地域の課題に応じて、各専門分野の「まちづくり専門家」を派遣しました。 (専門家の派遣数 3か所、7回)
人に自然にやさしい水辺空間の整備	人に自然にやさしい水辺空間を形成するため、「郷土の水辺整備事業」で周辺環境と一体となった河川の整備を行いました。

動物愛護の推進	
動物愛護推進協議会の運営	動物愛護推進協議会支部において、動物愛護推進員の活動に必要な支援等に対する協議を行いました。 (動物愛護推進協議会支部会 19回、動物愛護推進員会議 21回))
動物愛護普及啓発	動物の愛護と適正な飼養に関し普及啓発を図るため、地域、学校等における教育活動、広報活動を行いました。 (犬のしつけ方教室 27回、動物愛護教室 30回、事前譲渡講習会 2回、子犬の譲渡会 2回、動物愛護キャンペーン等 41回)
動物新飼い主探し事業	地域における模範的飼養者を育成するとともに、適正飼養・終生飼養が可能と判断された飼養希望者に対して、飼い方等の講習受講後、保護された犬猫を譲渡しました。(犬猫の譲渡数 316頭)
地域猫活動支援事業	猫の致死処分の削減を図るため、地域住民が主体となり、飼い主のいない猫の適正管理を行う「地域猫活動」に取り組む市町村に対する支援を行いました。 (飼い主のいない猫の不妊去勢手術 9市町14地域で156匹)





	932,935	447,301
	242	120
	110	130
	900	
	2,749	

	15,051	39
	152	
	53	78
	14	
		17,715
		40
		4,160
	17	1,614

	148
	163

	53



	( 199 )
	( )

	11 185 291
	34 33

	(H26 12,781 )
	26
	47 111
	21 20

	21 20 300



		H28		
	109 H22	150	129.6 H26	
	60 H22	70	65% H26	
	5 H22	50	30 (H26	19 6 2 3
	38 H22	65	62 H26	13 4 3 42
	10 H22	20	19 H26	8 9 2 0
Ruby	87 H22	400	325 H26	289 21 8 7
	33 H22	100	84 H26	76 5 1 2
	21 H22	50	36 26	14 9 5 8
	11 H22	15	12 H26	
	463 H236	600	545 H2612	
	12,460 H22	15,000	15,479 H26	
	814 H22	1,200	1,213 H26	
	477 (H22 )	500	354 (H26	197 47 23 87
	23 H22	250	240 H26	
	776 H22	1,200	1,158 H26	

		H28		
	69 H22	75	73% H26	
	108 H15 23	300 H15 28	346 H15 26	280 43 17 36
	3 H23	10	6 H26	
	95 H22	200	180 (H26	35 46 18 81
	1,183 H22	1,500	1,457 H26	311 84 112 950
	148 H22	200	217 H26	49 18 24 126
	105 H22	20	163 H26	
		15,000	22,760 H26	14,307 4,641 971 2,841
	3,744ha H22	4,500ha	4,289ha (H26 )	1,074ha 533ha 907ha 1,775ha
		50	31 H26	6 6 1 18
	924 H22	1,500	1,237 (H26 )	463 205 266 308
	25 H22	50	33% (H26 )	
	845 (H233 )		91.1 H27.3	H27.3 96.7%
	946 (H233 )		987 H27.3	H27.3 98.8% 98.6% 98.7% 98.8% 98.9%
	58 (H237-9)	50%	43 (H27.1-3)	

		H28		
	542 H15 23	1,750 H15 28	2,003 H15 26	
	715 (H22 )	1,085	1,527 (H26 )	167 369 562 429
	213 (H22 )	315	256 H26	81 70 36 70
	12,300 (H22 )	22,000	14,844 H26 )	
( L=49km)	(L=8km)	(H26 )	(L=42km)	
(L=18.1km)	JCT (L=17.2km)	(H24 )	(L=18.1km) (H24 )	
	2,928 H22	3,970	3,518 H26	
	8,715TEU (H22 )	23,400TEU	15,614TEU H26	

		H28		
	631 H234	90	89.9% (H264)	95.6% 94.1% 47.9% 88.0%
	83 H234	91	43.3% H26	17.7% 53.9% 46.7% 60.0%
	50 H23	85	73% H26	
	15 H23	100	65% (H26 )	83.3% 70.0% 25.0%
	33 H22	100	62% H26	0.0% 100% - 100%
	83 H23	100	100% H26	100% 100% 100% 100%



		H28		
	79 H20	90	83 H25	
	84 H234	90	860% H26	
	829 H234	100	97.6% H26	99.4% 94.5% 99.5% 97.4%
	76 H23	97	94% H26	89% 100% 94% 91%
	872 H22	500	569 H27.1	300 31 188
	78,809 H22	70,000	63,259 H26	34,855 15,119 5,484 7,801
	1,725 (H2212)	2,300	1,773 (H2612)	789 410 192 382
	257 H23	130	153 H26	72 34 16 29 2
	44,445 (H22 )	40,000	41,168 H26	19,772 10,785 3,371 6,672 568
	170 (H22 )	120	147 H26	57 38 16 30 6

		H28		
70	161 H22	30	17.9% H26	
	185 H19	25	17.7 H24 )	
	40 H239	60	58 H26	20 12 15 11

		H28		
	1.63 H236	1.8 H25 4 20%	1.80% (H266)	
	11,791 H22		13,112 25	14,437 / H25 12,333 / 14,090 / 12,759 / 13,447 /
	651 H22	75	688% H27.41	75 8% 60 9% 72 7% 76 1%
	1,164 H22	2,000	2,198 (H26	666 679 280 573

		H28		
	43 H234	60	55 H26	17 13 13 12
	41.3  263 H234	40  300	41.4  29.1 H2641	29 0% 31. 1% 23 4% 31. 7%
	35 H22	60	66 (H2641)	
	100 H2310	300	315 H26	
	512 H22	750	619 H26	228 131 81 179
	3,261 H239	6,000	5,050 (H26 )	2,328 835 570 1,317
	29 H21.3	60 26	667% (H27.3)	66 0% 69. 7% 64 0% 66 0%
	161 H234	3,000	3,509 H26	1,564 835 634 476

		H28		
	845 (H233 )		91.1 H27.3	H27.3 96.7%
	946 (H233 )		987 H27.3	H27.3 98.8% 98.6% 98.7% 98.8% 98.9%
	46,818 H22	46,000	45,202 H26	
11	79.3 H21	100	86.9 H25	86.5% 90.8% 86.8% 82.2%
	63 54 6 45 H234	73  11	72 63 9 45 H26	
	1,063 H234	0	759 H27.4	696 12 0 51
	15,655 H2311	22,000	20,192 H26	9,594 4,546 2,319 3,733
	3,261 H239	6,000	5,050 (H26 )	2,328 835 570 1,317
	14 H22	21	17 H26	

		H28		
	2 H22	8	H26	4 4 0 0 0 0 4 0 0 0 0 0
	53.35 52.92 39.43 44.87 H22		53.62 53.99 40.66 46.85 H26	: 53.91 55.01 : 41.74 48.66 H26

		H28		
	865 869 H23	100 100	964 897 H26	98.9% 94.6% 98.4% 84.8% 91.5% 93.1% 95.1% 86.4%
	11.7 H22		124 H25	11.8 / H25
	19.7 H22		180 H25	188 / H25
	229 H22		330% H25	30.4% H25
	39.5 H22	50	307% H25	
	87.2 H22	95%	84.8% H26	87.6% 81.9% 85.3% 84.6% 80.9% 84.0% 84.4%
	29 H22	60	54 H26	19 12 12 11
10 19	1,000 126 H22	98	7.3 H26	6.6 9.7 7.5 5.8
14	345 H22	300	35.4% H26	32.7% 38.0% 40.8% 35.9%
	908 484 382 H22	100 100 100	984 81.0 69.2 H26	98.3% 82.8% 81.8% 99.0% 90.0% 58.6% 95.3% 60.0% 35.7% 97.3% 70.3% 88.0%
	944 929 H22	100 100	100 100 H26	

		H28		
	34 H20	70	420 H24	
	93 H20	45	17.4 H24	
	784,000 H18	H20 10	H20 1.370% (H24 )	
75	10 87.6 H22	10 806	10 846 H25	
	10 233 H22	10 206	10 19.7 H26	

		H28		
	131 H22	155	156 H26	
	1,068 H22	1,600	1,510 H26	688 298 199 355
	245 H22	395	491 H26	84 56 71 280
	363 H23	440	406 H26	107 146 26 127
	13 H23	130	122 H26	17 35 24 46
	28 H23	50	40 H26	16 7 6 11
	140,604 (H22 )	210,000	193,533 (H26 )	

		H28		
	10 H21	17%	11.3% H26	9.2% 14.7% 15.1% 14.2%
	19 H22	29	27 H26	
	1,947 (H20 )	1,734 (H27 )	1,853 (H25 )	920 522 148 263
	24 (H20 )	25 (H27 )	22% (H25 )	16% 28% 27% 30%
	13,766 (H20 )	14,454 (H27 )	13,045 (H24 )	
	61 (H20 )	61 (H27 )	53% ( 24 )	
	299,630 W H22	580,000 W	1,373,446KW H26	376,981KW 374,675KW 260,240KW 361,550KW
	6,759ha H22	25,700ha	18,391ha H26	5,731ha 2,849ha 6,288ha 3,523ha

10

		H28		
	363 (H22 )	420	462 H26	
	149,381 (H22 )	160,000	79,895 H26	
	15,544 (H22 )	35,000	26,343 (H26 )	
	202 H22	240	230 H26	
	14,492 H22	15,200	15,110 (H26 )	7,956 3,719 1,352 2,083
	11 H23	8	7 H26	

26 1 8

		H28		
	222,977 (H22 )	270,000	247,391 H26	
	231,704 (H22 )	300,000	308,757 H26	
	2 (H2312)	4	3 (H26 )	
	84 H23	164	139 (H26)	
	1,000 H23	3,500	2,174 H26	
	9,036 H225	21,600	12,781 (H265)	
	45 H235	100	108 H26	